

時間割コード	G2B60127	開講年度	2026				
授業題目	自然環境と文化					担当教員	分藤 大翼
英文授業名	Natural Environments and cultures						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学生	全
講義室	共通教育1 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	文化を比較して共通点と相違点を指摘できるようになる。 自分の文化の長所と短所を把握して、継続あるいは改善するために行動できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、グローバルコア人材養成コース・BASIC(国際理解)						
(4)授業の概要	人類学的な知見にもとづいて、食文化、病と癒し、死と儀礼、精霊・妖怪といった項目について自然環境と密接に関わりながら生きている人々の文化を紹介します。また同じ項目について、私たちの文化の現状についても紹介し、今後の私たちの生き方、自然との望ましい関わり方について考えます。						
(5)授業のキーワード	自然、文化、環境マインド、人類学						
(6)授業計画	1. はじめに 2. 自然とヒト 3. 自然の異変:気候変動とSDGs 4. 人類史における現代人 5. 正しく食べるということ 6. 狩猟採集という生き方 7. 漁撈という生き方 8. 農耕という生き方 9. まとめ 10. 病と癒し 11. 死と儀礼Ⅰ 12. 死と儀礼Ⅱ 13. 死と儀礼Ⅲ 14. 精霊・妖怪 15. まとめ 授業アンケート						
(7)成績評価の方法	小課題が4回（各10点）。 小レポートが3回：第9回の前、第15回の前と後（各20点）。						
(8)成績評価の基準	小課題の評価の基準： 課題を理解し、自分の考えを適切に表明しているか（10点満点）。 小レポートの評価の基準： 1.講義資料から十分に学んだ上で取り組んでいるか（5点満点）。2. 講義内容を理解したうえで書いているか（5点満点）。3.自分の興味関心や意見を明確に述べているか（10点満点）。 ※合計点が90点以上で「卓越している」、80-89点で「かなり上にある」、70-79点で「やや上にある」、60-69点で「合格の水準にある」と評価する。						
(9)事前事後学習の内容	eALPSに掲載される資料や情報を活用して学習すること。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	世界の様々な文化、人の生き方に対して好奇心を持つことが大切です。また、自分の生き方についても関心をもち、授業で学んだことを踏まえて普段の生活を見直し、自然と文化の未来について考え、行動することを期待します。毎回視聴覚資料を利用しますので、しっかりと視聴できるように体調を整えて受講するようにしてください。						
(11)質問,相談への対応	授業終了時に対応します。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により、補充を受けるための申請をおこなってください。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	授業時に紹介します。						